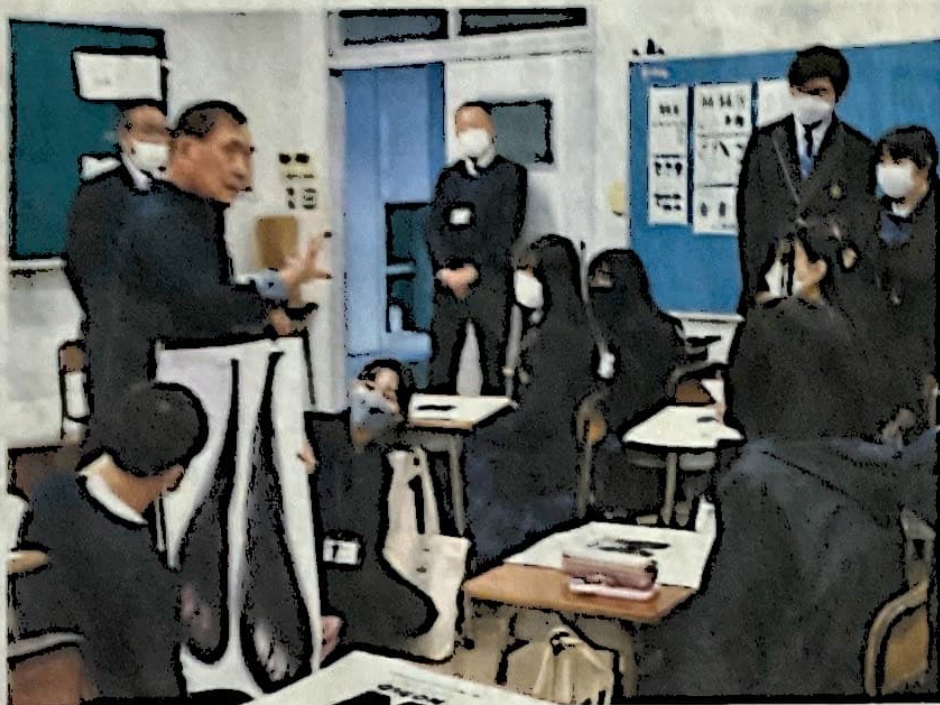


「よく見ること」大切

行方市を拠点に世界で活躍するグラフィックデザイナーの藤代雄さんが13日、鹿嶋市田野辺の鹿島学園高(常井安文校長)を訪れ、同校芸術コースの2、3年生17人に講話やデッサンを指導した。

行方のデザイナー・藤代さん

藤代さんの作品は、ルー・むなど、幅広い分野で活躍。ブルなど世界各地の美術館を続けている。講話で、藤代さんは「今年はガラス工芸にも取り組



鹿嶋市芸術コースの生徒を指導するグラフィックデザイナーの藤代雄さん。鹿嶋市田野辺

鹿島学園高 生徒にデッサン指導

くならない。自由に発想できるもので、よく学んでほしい」と生徒にエール。現在は作品制作の手段がパソコンなどデジタル化されたため、「その分考える時間に充てられる」とも述べた。

デザインの基本については「あまりやりすぎない。余分なものを取り払う。時代が変わるもの」と語り、油絵やデザインなどあらゆる分野で最も大切なものは「ものをよく見ること。デッサン力があって初めて成り立つ」と強調した。

その後は、自身の作品解説や生徒たちのデッサンを手直し。「力を入れるところは入れる」「人の場合は関節(の描き方)を大事に」などと指導した。生徒たちは、真摯な表情で藤代さんの説明に聞き入った。

藤代さんは「若い時に苦労するか、年を取って苦労するか、その二択しかない。諦めずに続けてほしい」と呼びかけた。

講話後、同コース2年、湯本笑風さん(17)は「自分の心を持ってやりたいことを貫くのが大切と思った」などと話した。